

2018年度活動方針案

1. 無年金障害者の解消を求めて、年金制度の改善を政府や国会に働きかけます。
2. 特定障害者に対する特別障害給付金についての参議院の附帯決議にある実態調査を求め、支給対象者の拡大、併給制限の緩和を求めます。
3. 障害年金判定の地域格差の解消を名目に進む支給判定の厳格化に反対します。判定見直しにより無年金、または降級となった方の支援をします。
4. 中高生に対する年金教育とりわけ障害年金に対する理解を進めるための教育を強化するよう求めて活動します。
5. ホームページを通じて「会」の活動と無年金障害者問題を知らせます。
6. ニュースを定期的に発行します。
7. 無年金障害者の抱える要求を聞き取り、実情をまとめて発表します。また、日常的に相談活動に取り組みます。
8. 高齢無年金障害者の「貧困」が大きな課題となっていますが。学習を深め、その解消に向けた運動に取り組みます。
9. それに基づいて、政府（厚労省）や国会に要求していきます。
- 10 会員を拡大します。